



市営霊園合葬式墓地の利用者を募集中

市営霊園は、緑と自然に囲まれた市北部の田園地帯にあります。市の木「ツツジ」や市の花「バラ」が植栽され、年間を通して落ち着いた雰囲気でご参拝することができます。合葬式墓地は、費用負担が少なく、墓石の管理が必要ないことから、承継者のいない夫婦や単身者でも納骨できる墓地です。

合葬式墓地とは

一つの大きなお墓の中に納骨壇（1体用、2体用）が設置されており、多くの遺骨を埋蔵できる共同の墓地です。市が永年管理するため墓石の管理が不要で、墓の承継に不安がある人や承継者がいない人なども利用できます。納骨後の参拝は、合葬式墓地の前にある参拝広場で行います。納骨壇の利用期間は20年で、その後は地下の合葬室に永年埋蔵されますが、条件を満たせば最長10年間、有料で納骨壇の利用期間を延長できます。

利用資格と使用料

市の住民基本台帳に1年以上登録があり、次の①～③の要件を満たす人が利用できます。

①焼骨を保管している人、または自分のお墓として使用したい65歳以上の人であること、②市営霊園芝生墓地の利用権を有していない人であること、③納骨する焼骨は本人のほか、次の（1）～（3）のいずれかに該当する人であること。

- （1）配偶者※ 事実上の婚姻関係含む
- （2）血族3親等以内
- （3）姻族2親等以内

使用料は、管理料を含め1体用11万円（税込）、2体用22万円（税込）で、利用許可時に一括払いとなります。申し込み時に用意する必要はありません。

申し込み方法

次の①～⑥の書類を用意し、窓口に来る人の氏名、生年月日が確認できるもの（免許証、マイナンバーカード、保険証など）を持参し、市役所健康福祉課または市営霊園管理事務所で申し込んでください。申し込みは随時受け付けしています。

①申込者本人の住民票（申込日の1か月以

内に発行のもの）、②申込者本人の戸籍謄本（申込日の6か月以内に発行のもの）、③死体（死胎）火葬許可証の原本と写し各1部（生前申込みの場合は不要）、④埋蔵予定の焼骨を既に他の墓地に安置している場合は、納骨の事実を確認できる書類1部、⑤申込者本人が申請に来られない場合は委任状、⑥申込者本人と埋蔵する焼骨または埋蔵する人との続柄を確認できる書類（②の戸籍謄本で確認できない場合）

八千代市営霊園へのアクセス

所在地：小池1521-1

■車 国道16号を柏方面に向かい、小池交差点を右折。市営霊園の看板沿いに進む

■電車 北総鉄道小室駅から徒歩20分程度

■バス 八千代緑が丘駅から、京成バス千葉セントラル神崎線で「大学グランド前」下車。徒歩25分程度

お盆・お彼岸期間は、臨時の無料送迎バスが運行。時刻表・乗り場案内図は健康福祉課、市営霊園、支所・連絡所で配布、市ホームページにも掲載予定



お問い合わせは
健康福祉課☎421-6731または
市営霊園事務所☎489-7466へ

募集 2026全国さくらシンポジウムin 八千代の大会テーマを募集します

全国の桜の名所を舞台に開催される全国さくらシンポジウムが来年4月に八千代市で開催されます。市内の桜の名所や、ボランティアにより維持管理されている新川千本桜の美しい風景を未来につなぎ、また、観光振興につながるような大会テーマを募集します。

▶募集期間 7月15日(火)から9月8日(月)午後5時まで ▶応募方法 ちば電子申請サービスからの応募のみ ▶応募に関する留意事項がありますので下記コードから市ホームページをご確認ください ▶問い合わせ 2026全国さくらシンポジウムin 八千代実行委員会事務局（観光推進室内）☎421-6762



▲市ホームページ

募集 八千代市消防職員募集

8年4月1日付け採用の八千代市消防職員採用試験を9月21日(日)に行います。募集要項は、ホームページまたは消防本部、各消防署、市役所、支所・連絡所で配布しています。

申し込み開始は8月1日(金)から、申し込み方法は、インターネット（ちば電子申請サービス）のみとなります。募集要項を確認のうえ、申し込みをお願いします。お問い合わせは、消防総務課☎459-7802



▲市ホームページ



八千代市消防本部
令和8年4月1日 採用職員募集

広告

広告